

第 7 次小田原市総合計画第 1 期実行計画

行政案

(図書館関連抜粋)

施策 14 生涯学習

◆ 目指す姿

○多様な学習の機会や場、情報などが提供されており、市民は主体的にそれらを活用しながら生涯学習活動を行うことで学びや活動を通じた交流の輪が広がり、自らが地域の課題解決の担い手となるなど、学んだことがまちづくりに生かされています。

◆ 現状と課題

- ・講座やイベントを開催することによって、学びとの出会いの機会は提供できているものの、学びの継続や探求、学びを通じた人とのつながりなど、学びと活動の好循環の実現のための支援に課題があります。
- ・生涯学習関連施設においては、事業運営や老朽化が進む設備等の適切な修繕・設備更新等が課題となっています。特に郷土文化館は施設の老朽化が著しく、国指定史跡内に位置していることから建て替えや大規模な修繕が難しい状況にあり、機能移転などの検討を進める必要があります。
- ・読書習慣の形成が不十分であることや読書への関心度合いの低下等により不読率が増加していること、また、インターネットやスマートフォン等の普及等による読書環境への影響の可能性あることを踏まえ、図書館への来館を促進するとともに、読書への関心を高めるための効果的な取組を推進、充実することが必要です。

◆ 関連する個別計画

- ・小田原市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

◆ 成果目標

1 生涯学習事業に関連する各種講座受講者の満足度（単年）

基準値（-）	目標の方向性	目標値（令和10年度）
- 点	増	4.5 点

2 生涯学習関連イベント参加者数（単年）

基準値（令和6年度）	目標の方向性	目標値（令和10年度）
14,033 人	増	14,500 人

3 図書館の入館者数（単年）

基準値（令和6年度）	目標の方向性	目標値（令和10年度）
480,332 人	増	491,352 人

4 おだわらデジタルミュージアムへのアクセス数（単年）

基準値（令和6年度）	目標の方向性	目標値（令和10年度）
176,815 件	増	220,000 件

詳細施策 1401 市民の学びに対する支援

◆ 3年間で取り組むこと

- ・キャンパスおだわら事業の事業展開の検討を行うほか、生涯学習関連施設の修繕等を適切に行い、市民主体の生涯学習を推進します。
- ・大学との連携を視野に入れながら、社会教育メニューの充実・強化を検討します。
- ・市民の交流の場および生涯学習活動に触れるきっかけづくりなどを目的に、多様な講座やイベントを開催します。また、多くの方の参加につながるような周知方法を検討し実践します。

◆ 主な取組

- キャンパスおだわらの運営
- 生涯学習センターの管理運営
- 生涯学習フェスティバルの開催
- 地区公民館の活動支援
- 集会所の管理運営

詳細施策 1402 郷土についての学びの推進

◆ 3年間で取り組むこと

- ・豊富な地域資源を継承し、市民が活用していくことを目的として、郷土の学びを深める展示や講演会等イベントを充実させます。
- ・市民と共に郷土の歴史資産を守り伝えることを目的として、体制の構築を進めます。
- ・市内の小学生等が尊徳翁の事績と教えを学んでもらうことを目的として、尊徳学習など学校教育と連携します。
- ・郷土文化館の老朽化対策や収蔵スペース確保等のために、施設の整備・改修に向けた検討を行います。

◆ 主な取組

- 郷土の歴史資産の収集や保存・活用・公開
- 郷土文化館・尊徳記念館の管理運営
- 松永記念館の管理運営
- 二宮尊徳に関する資料収集や学習推進、顕彰
- 博物館構想の推進
- デジタルミュージアムの管理運用

詳細施策 1403 図書館サービスの充実

◆ 3年間で取り組むこと

- ・老朽化が進む施設を健全に維持するため、効果的な施設更新を実施するとともに、図書資料を適宜補充します。
- ・図書館を使った調べる学習コンクール、読書活動推進講演会、利用者提案型イベント、一箱本棚オーナー等の取組により、新たな利用者の拡大を図ります。
- ・小田原駅東口図書館では「利用者層の拡大」、「次世代育成」、「まちの活性化」をコンセプトとし、子育て支援センターと連携し、各世代の図書館への興味・関心を喚起するイベント等の取組を進めます。
- ・電子書籍の充実を図るとともに、効果的な周知に務め、電子図書館の利用を促進します。

◆ 主な取組

- 図書館の活用促進
- 電子図書館の管理運用
- こどもの読書活動推進
- 中央図書館や東口図書館の管理運営
- 地域資料の整理や公開
- 図書館ネットワークの運営

施策 21 歴史資産

◆ 目指す姿

○歴史資産の適切な管理と整備活用による歴史的街なみの再形成が進み、本質的価値や魅力が高まることで来訪者が増加するほか、市民が、地域に残る文化財や良好な歴史的風致に囲まれながら暮らし、四季折々の祭礼を楽しむなど豊かな時間を過ごすことで、まちに愛着と誇りを感じています。

◆ 現状と課題

- ・小田原城跡や石垣山等の史跡では、老朽化した施設の整備や樹木の剪定等、適切な維持管理に取り組む必要があります。
- ・小田原城跡では史跡整備を進めており、御用米曲輪では整備方針の検討に伴う発掘調査を行うとともに、天守閣の将来的な再整備に関わる検討を進めるほか、小田原城からの市内への回遊性を高めるため、指定管理者等と連携強化を図る必要があります。
- ・埋蔵文化財調査遺物は年々増加し続けている一方で、保管場所が限られていることから、収蔵施設の整備について検討が必要です。
- ・無形民俗文化財保護団体の後継者不足が長年の課題であり、小田原民俗芸能保存協会の活動を支援する必要があります。
- ・本市固有の歴史的風致の維持向上に向け、小田原市歴史的風致維持向上計画（第2期）に基づき、重点区域における歴史的風致形成建造物の保存活用や、建造物・道路・植栽等の修景整備、祭礼・伝統行事等の活動の促進など複合的な取組を進める必要があります。
- ・西海子小路周辺は、板橋やかまぼこ通り、小田原漁港を繋ぐ位置にあることから、小田原城跡エリアにとどまらない交流人口の拡大に向け、交流・回遊拠点としての整備を進める必要があります。

◆ 関連する個別計画

- ・小田原市文化財保存活用地域計画（令和8年度～令和18年度）
- ・史跡小田原城跡保存活用計画（令和3年度～）
- ・小田原市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年度～令和12年度）
- ・歴史的建造物利活用エリアコーディネートプラン（平成30年度～）

◆ 成果目標

- 1 小田原城天守閣・常盤木門・小田原城歴史見聞館の入館者数（単年）
- 2 文化財公開事業等来訪者数（単年）
- 3 市有の歴史的風致形成建造物※の年間来館者数（単年）

基準値（令和6年度） 872,000 人	目標の方向性 増	目標値（令和10年度） 887,000 人
基準値（令和6年度） 8,000 人	目標の方向性 維持	目標値（令和10年度） 8,000 人
基準値（令和6年度） 93,400 人	目標の方向性 増	目標値（令和10年度） 99,000 人

※松永記念館、清閑亭、小田原文学館、旧松本剛吉別邸、小田原宿なりわい交流館、皆春荘

詳細施策 2101 小田原城などの整備・活用

◆ 3年間で取り組むこと

- ・御用米曲輪の整備方針を定め、実施設計に向けた準備に入ります。
- ・小田原城跡の天守閣と大手門の将来的な整備に向け、検討を継続します。
- ・史跡における石垣カルテ作成に着手します。
- ・国等の関係機関と連携を図りながら老朽化する施設等の改修に取り組むとともに、史跡内の樹木剪定や危険樹木等の伐採など適正な植栽の維持管理を行います。
- ・小田原城天守閣等の展示リニューアルを検討するとともに、誘客促進の取組を指定管理者等と連携して推進します。

◆ 主な取組

- | | | |
|--------------------|-------------------------|-------------|
| ➤ 史跡小田原城跡の保存・活用・整備 | ➤ 史跡石垣山の保全対策 | ➤ 史跡等用地の取得 |
| ➤ 城址公園施設の環境整備 | ➤ 天守閣の展示リニューアル検討と特別展の開催 | ➤ 天守閣等の管理運営 |

詳細施策 2102 文化財の保存・活用

◆ 3年間で取り組むこと

- ・関係4市（小田原市・平塚市・厚木市・南足柄市）で取り組んでいる相模人形芝居の総合調査を進め、報告書を刊行します。
- ・無形民俗文化財の保護団体等が行う後継者育成事業を支援します。
- ・文化財所有者が行う修繕費用等の一部を補助し、文化財の保存に努めます。
- ・各町に伝わる祭礼文化等を保存継承するため、祭礼に使用される山車や神輿等の修繕に関する支援策について検討します。
- ・埋蔵文化財調査を実施し、出土した遺跡や遺物を整理・記録し適切に保管するとともに、報告書を刊行します。
- ・埋蔵文化財調査の成果や文化財建造物の公開を通じて、市民の文化財保護に対する意識の醸成を図ります。

◆ 主な取組

- | | | |
|------------------|----------------------|-----------------|
| ➤ 指定文化財等の保存管理や修理 | ➤ 相模人形芝居総合調査の実施 | ➤ 山車・神輿の修繕支援の検討 |
| ➤ 文化財の公開 | ➤ 緊急発掘調査や遺跡・遺物の整理と記録 | ➤ 収蔵施設整備の検討 |

詳細施策 2103 歴史まちづくりの推進

◆ 3年間で取り組むこと

- ・市有の歴史的風致形成建造物の保全と利活用など歴史的風致維持向上計画（第2期）に位置付けた事業を推進します。
- ・歴史的風致形成建造物の指定及び改修整備に向けた調査、調整を進めます。
- ・小田原文学館本館・別館・庭園等の施設について、小田原駅・小田原城跡から小田原漁港、板橋・かまぼこ通り方面への誘客拡大等に向けた回遊・交流拠点としての整備・機能強化を進めるとともに、旧保健福祉事務所跡地の活用について検討していきます。

◆ 主な取組

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------|---------------|
| ➤ 歴史的建造物（皆春荘・旧松本剛吉別邸・旧内野醤油店など）の活用 | ➤ 歴史的風致維持向上計画の進捗管理 | ➤ 小田原文学館の管理運営 |
| ➤ 旧保健福祉事務所跡地の活用検討 | | |